

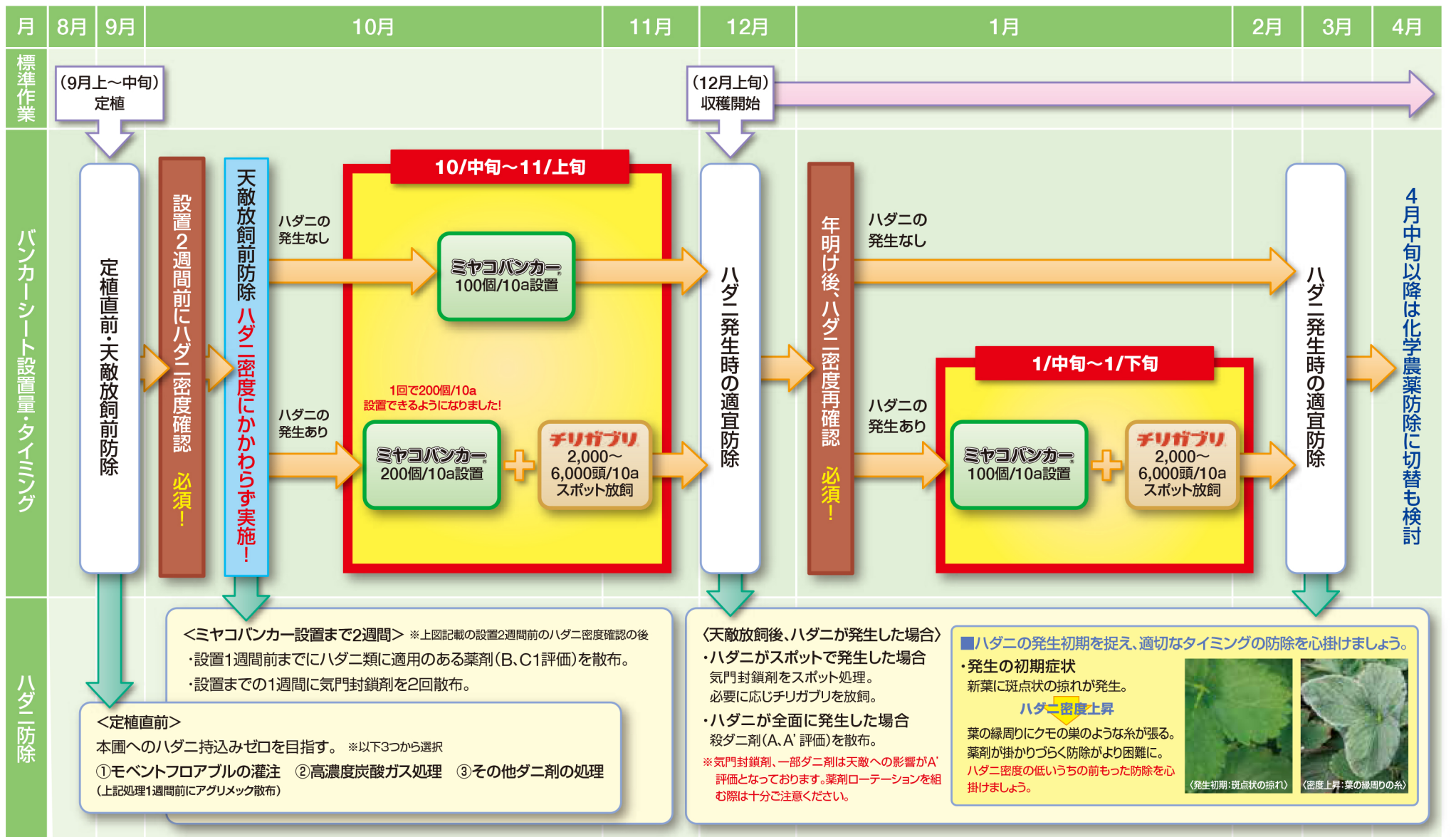


# ミヤコバンカー<sup>®</sup>による促成イチゴ(本圃)ハダニ防除

バンカーシート<sup>®</sup>は農研機構・中央農研を中心とした農食事業(実用開発ステージ26070C)で実用化技術を確立。



## ミヤコバンカー<sup>®</sup>による促成イチゴ(本圃)ハダニ防除



※A、A'、B、C1などの表記は、それぞれミヤコカブリダニに対する薬剤の影響度合いを表しています。  
ミヤコバンカーを導入される際は、別途専用の薬剤影響表をよくご確認ください。

## ミヤコバンカー<sup>®</sup>の組立て方と設置の仕方

### ミヤコバンカー<sup>®</sup>の構成物・組み立て方

#### ■有効成分

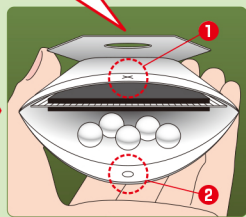
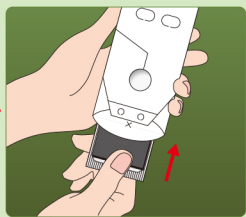
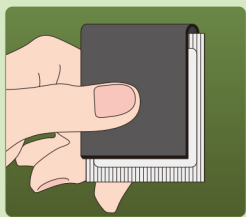
・ミヤコカブリダニ  
100頭/パック

#### ■その他の成分

・バンカーシート(100枚)  
・フェルト(産卵基質)  
(100枚)  
・保水資材(1袋)



- ①×印のある折込み部分を先に折込み、  
②○印のある折込みはあとから折込んでください。



①フェルトでカブリダニパックを挟みます。 ②バンカーシートの下から奥までしっかり挿入します。 ③保水資材を5個入れ、閉じてください。

### 新情報

- ◆イチゴ(施設栽培)での使用量が50～300パック/10aに拡大し、より使いやすくなりました!
- ◆弊社ホームページのミヤコバンカー製品ページより、ミヤコカブリダニに対する薬剤影響表がご覧いただけます!

<石原バイオサイエンス株式会社ホームページ: <https://ibj.iskweb.co.jp/>>



ミヤコバンカーPV

### お求めはお近くのJAで!

こちらより  
動画によるミヤコバンカーの説明が  
ご覧になれます。

### 設置数

ハウスが複数ある場合、まずハウスごとに設置する個数を算出しましょう。

【登録内容(抜粋)】

※印は本剤およびミヤコカブリダニを含む農薬の総使用回数。

| 作物名           | 適用病害虫名 | 使用量                | 使用時期          | 使用方法 | 総使用回数* |
|---------------|--------|--------------------|---------------|------|--------|
| いちご<br>(施設栽培) | ハダニ類   | ※50～300<br>パック/10a | 発生直前～<br>発生初期 | 放飼   | —      |

圃場10aあたりミヤコバンカーを100個設置。→つまり1aあたりミヤコバンカー10個。

(例)ハウス面積 2.5aの場合→25個  
6aの場合→60個

ポイント この個数を目安に、購入分(100個単位)をハウスごとに分配。  
カゴや袋などに分けておくと設置がスムーズに行えます。

※本内容はシステムミヤコくん(農林水産省登録 第23874号)の登録内容に基づいており、令和2年3月25日付けで適用拡大。

### 設置方法



【バンカー間距離の目安】※100個/10a設置、2条植えの場合  
およそ8m程度。(200個/10aの場合は4m程度)  
株数でおよそ30～35株ごとに1個。  
※畝端に設置するバンカーは畝端からおよそ4mの距離に設置。  
(バンカーからバンカーまでの距離のおよそ半分)



【設置方法】  
写真左:バンカー表、写真右:バンカー裏

ひとハウスで使用するバンカー数が  
分かったら、その数を畝数で割り、  
一畝に使用するバンカーの数を  
出しましょう。

(例)左写真のような単棟ハウス(3a)6畝の場合  
ミヤコバンカー30個÷6畝=5個/1畝  
→1畝にミヤコバンカー5個を等間隔に設置。  
注)端の1条植えの畝にも同じ数、間隔で設置してください。

#### ポイント

この時、ハウスの骨組み、柱などを目安にすると、  
より正確に等間隔に設置することができます。  
また、もしハウス内の畝の長さが全て同じ場合は、  
一畝設置した後、他の畝も平行に同じ箇所に設置  
すればOKです。

【設置方法】  
バンカーシート背側のフック部分の穴(上部に2つ、  
下部に1つ)に左写真(裏側)のように竹串を通します。  
竹串をマルチ上から地面に刺し、立てて設置します。

- 使用前にラベルをよく読んでください。
- ラベルの記載以外には使用しないでください。
- 本剤は小児の手の届く所には置かないでください。